

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年9月8日(2016.9.8)

【公開番号】特開2015-32451(P2015-32451A)

【公開日】平成27年2月16日(2015.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2015-010

【出願番号】特願2013-161191(P2013-161191)

【国際特許分類】

H 05 B 37/02 (2006.01)

【F I】

H 05 B 37/02 J

H 05 B 37/02 L

【手続補正書】

【提出日】平成28年7月25日(2016.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

外部電源から供給される電流に応じて点灯する第一の光源と前記第一の光源と異なる色温度で点灯する第二の光源とを点灯させる点灯回路において、

外部からパルス信号を入力する1つのインターフェースと、

前記インターフェースから入力されたパルス信号の変化量に応じて、

第一の光源に供給される電流を調整するための第一点灯制御信号と第二の光源に供給される電流を調整するための第二点灯制御信号とを生成する制御回路と、

前記第一点灯制御信号に基づいて、前記第一の光源に供給する電流を調整する第一の点灯制御回路と、

前記第二点灯制御信号に基づいて、前記第二の光源に供給する電流を調整する第二の点灯制御回路と、

を備え、

前記制御回路は、

前記第一の光源と前記第二の光源に供給される電流の変化量が等しくなるように前記第一点灯制御信号及び第二点灯制御信号を生成する第一の動作モードと、

前記第一の光源と前記第二の光源に供給される電流の変化量が異なるように第一点灯制御信号及び第二点灯制御信号を生成する第二の動作モードとを有し、

前記外部電源と接続される電源スイッチがオンである場合に、該電源スイッチがオフとされてからオンとされるまでの停止時間間隔と、該電源スイッチがオフとされ、再度オンとされる回数とに応じて前記第一の動作モードと前記第二の動作モードとを切り替えることを特徴とする点灯装置。

【請求項2】

前記制御回路は、前記停止時間間隔を計測するタイマーと、

前記停止時間間隔が閾値以下となった回数をカウントするカウンタと、

を備え、

前記カウンタの値が閾値以上となった場合に動作モードを切り替えることを特徴とする請求項1に記載の点灯装置。

【請求項3】

前記制御回路は、前記動作モードの切り替えが終了する際に前記第一点灯制御信号と前記第二点灯制御信号とに対応する前記パルス信号のオンデューティー比を記憶するメモリを備えることを特徴とする請求項1又は請求項2に記載の制御回路。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の点灯装置は、外部電源から供給される電流に応じて点灯する第一の光源と前記第一の光源と異なる色温度で点灯する第二の光源とを点灯させる点灯回路において、外部からパルス信号を入力する1つのインターフェースと、前記インターフェースから入力されたパルス信号の変化量に応じて、第一の光源に供給される電流を調整するための第一点灯制御信号と第二の光源に供給される電流を調整するための第二点灯制御信号とを生成する制御回路と、前記第一点灯制御信号に基づいて、前記第一の光源に供給する電流を調整する第一の点灯制御回路と、前記第二点灯制御信号に基づいて、前記第二の光源に供給する電流を調整する第二の点灯制御回路と、を備え、前記制御回路は、前記第一の光源と前記第二の光源に供給される電流の変化量が等しくなるように前記第一点灯制御信号及び第二点灯制御信号を生成する第一の動作モードと、前記第一の光源と前記第二の光源に供給される電流の変化量が異なるように第一点灯制御信号及び第二点灯制御信号を生成する第二の動作モードとを有し、前記外部電源と接続される電源スイッチがオンである場合に、該電源スイッチがオフとされてからオンとされるまでの停止時間間隔と、該電源スイッチがオフとされ、再度オンとされる回数とに応じて前記第一の動作モードと前記第二の動作モードとを切り替えることを特徴とする。